

大会名 Competition	第19回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-13	Year Month Day Time 2006 年 5 月 5 日 12 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
能代工高	<table border="1"> <tr><td>13 1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>28 2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>28 3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>26 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	13 1st	20	28 2nd	19	28 3rd	12	26 4th	20	OT		市立桜宮高
13 1st	20											
28 2nd	19											
28 3rd	12											
26 4th	20											
OT												
95 ○		71 ●										

主審:Referee
地頭菌 剛 (千葉)
副審:Umpire
谷 地 温 (秋田)
テーブル・オフィシャル:Table officials
秋田県立能代商業高等学校

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	下山 竜 良	CAP	20	4	4	0	2	4	×	渡部 陽	CAP	5	1	1	0	2
5	×	満原 優 樹		10	0	5	0	2	5	×	平井 清 貴		24	6	3	0	1
6	×	長谷川 技		16	0	7	2	2	6	／	柳原 緋呂樹		5	0	2	1	4
7	×	渡部 敬 祐		16	4	2	0	1	7	×	記 劍士郎		21	5	3	0	1
8	×	西山 達 哉		15	1	6	0	0	8	×	高橋 伸太郎		16	0	8	0	2
9	／	高橋 健太郎		4	0	2	0	2	9	×	吉永 隼 正		0	0	0	0	2
10	／	遠藤 悠 亮		2	0	1	0	1	10	／	森田 真 幸		0	0	0	0	0
11	／	鈴木 啓 介		0	0	0	0	0	11		城 賢一郎		-	-	-	-	-
12	／	宮川 光		6	2	0	0	0	12		長岡 康 平		-	-	-	-	-
13	／	永須 亘		0	0	0	0	1	13		辻田 裕 大		-	-	-	-	-
14	／	館山 健 太		0	0	0	0	0	14		平石 大 祐		-	-	-	-	-
15		村上 永 英		-	-	-	-	-	15		神野 修 平		-	-	-	-	-
16	／	高橋 陽		0	0	0	0	0	16		馬場 一 宏		-	-	-	-	-
17		熊谷 健		-	-	-	-	-	17		市原 侑 弥		-	-	-	-	-
18	／	石川 朝		6	0	3	0	0	18		中本 淳 也		-	-	-	-	-
コーチ		加藤 三 彦							コーチ		小村 基						
合計				95	11	30	2	11	合計				71	12	17	1	12

※×:スターター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ここまで3戦全勝の能代工業と1勝2敗の桜宮、優勝を目指す能代工業にとっては最終戦に向けて勢いを増したいところ。両チームともトランジションの速い展開が予想される対戦となった。

第1Q、桜宮は積極的に足を動かし能代にプレッシャーをかけ、3Pシュートを封じるとともに、インサイドへのパスも止め、リズムをつかませない。能代は攻撃を封じられ攻め手をつかめない。桜宮は能代のお株を奪うような見事な速攻も決め、4本の3Pも含め、13-20とリードし1Qを終了。

第2Qに入ると能代は#7渡部の3Pが決まりだし3分に逆転。#4下山と#8西山の得点もあわせ流れを引き寄せる。一方桜宮もリードは許したものの、3本の3Pと速攻で必死に食い下がる。能代は6本の3Pが決まり、41-39と2点リードし前半を終了。

第3Qに入ると能代はさらに勢いを増し、#4下山と#6長谷川が中心に得点を重ねる。4分に51-45と能代が6点リードした場面で桜宮はタイムアウト、ディフェンスをオールコートプレスに切り替え形勢の逆転を図るが、能代の優勢は変わらず、さらに得点を引き離し、69-51と大きくリードしこのQ終了。

第4Qは第3Qからの流れが変わらず、能代の速攻が次々と決まる。4分には82-56とリードを広げたところで桜宮がタイムアウト。6分に86-60となったところで能代は選手を入れ替え、そのままのリードで進み勝利した。上背とスピード、シュート力で総合的に勝る能代が最終戦を全勝で迎えることとなった。